



テーマ

追手門学院歌 LPレコード



「追手門学院歌」が、学院長八束周吉氏作詞、高木和夫氏作曲で校歌として制定されたのは、終戦後日米講和条約が調印される前年、昭和25年11月5日です。その10年後、昭和35年（1960年）にこのLPレコードが録音されました。このレコードには、大阪借行社附属小学校校歌、追手門学院歌、追手門学院高等学部応援歌、追手門学院行進曲が納められており、ジャケット裏面には、佐藤良和先生が学院創立から学院歌が制定されるまでの流れを解説されています。

室長からのあいさつ

一貫連携教育機構 学院志研究室では、学院の歴史的記録を後世に継承するため、また、貴重な記憶の風化を防ぐため、学院の歴史に関する史料の発掘・収集・整理・保管を進めております。

追手門学院では、近年、各学舎での年史編纂、自校教育教材の作成、將軍山会館での展示、自校教育の正規授業化等が目覚ましく進展しております。ところが、歴史的・文化的価値がある学院の記録史料の収集・整理、いわゆる学院アーカイブズの整備は永らく見過ごされてきました。現用価値を失った後も将来にわたって保存すべき貴重な文書や写真、音声データや映像記録が、日々散逸し失われています。

学院志研究室では、本年7月より、専属の定時職員を置き、学院の歴史史料のデータベース化（目録作成）を鋭意進めています。創業者および学院関係者の諸資料、広報誌などの学内刊行物、教職員・学生・生徒・児童の出版物、写真や記念品など、学院の歴史に関する史料であれば何でもけっこうです。廃棄される前に、記念資料室にご一報いただけますよう、お願い申し上げます。



室長 梅村修

〔活動日誌〕

- 2015年9月25日 第1回学園アーカイブセミナー（大阪大学）（梅村室長・吉田・田村） 出席
- 2015年11月2日 淑徳大学 自校教育のヒアリングのため来校（山口光治様他2名）（梅村室長・山本）
- 2015年11月2日 第8回学院志（史）に関する打合せ
- 2015年 中高70年志に向けてのヒアリング、自校教育「アプリ」制作、天野先生関連調査他（藤原）

〔受贈報告〕

- 2015年 8月 香山恭慶氏（小学校卒・大手前中高第26期卒業生）より資料受贈
- 2015年 9月 吉富敏朗氏（追手門学院大学第21期卒業生）より資料受贈
- 2015年 10月 天野行規氏（天野利武先生ご令孫）より資料寄託
- 2015年 11月 西川喜朗氏（追手門学院大学名誉教授）より資料受贈

〔各校の年志編纂について〕

『大学50年志』

大学は2016年に開学50周年を迎えます。それに向けて、4年前より「大学50年志」の編纂を行なっています。大学は、「10年史」「20年史」「30年史」と10年ごとに年志を作ってきましたが、「40年史」を発行しなかったため、今回は20年分の記録を中心に編纂しています。発行は来年度式典が、開催される創立記念日の予定です。

『両中高70年志』

両中高は、2020年に創立70周年を迎えます。2010年、両中高が初めて合同で『60年志』を編纂。それをきっかけに、アーカイブズの重要性も認識されました。昨年度末、『両中高70年志』編纂委員会が発足、編年体の年志編纂に向けて、現在はアーカイブズの充実を図っています。

資料の寄贈・提供のお願い

学院志研究室では、追手門学院大学および学院に関する資料を、広く収集しています。創業者及び学院関係者の諸資料、広報誌などの学内刊行物、教職員・学生・生徒の出版物、写真、記念品など、学院の歴史に関する資料がございましたら、記念資料室（4号館1階 内線4405、E-mail:archives-g@otemon.ac.jp）までお気軽にご連絡ください。

